



## 聖母マリア教会、シグチューナ市

聖母マリア教会は現存する建造物の中ではシグチューナ市最古のものです。ここには、750年にもわたるシグチューナの歴史と人々が育んで来た思い出や宝が数多く保存されています。中世には僧と商人の関係を結んできたここは、今日ではシグチューナを世界と結ぶ接点となっています。

1230年頃ドミニク教団の僧達は、現在の聖母マリア教会の聖壇所の部分と、教会の南に位置する僧院を築き始めました。1247、1248年8月15日、処女マリア昇天の日が教会の完成日とされています。1250年の半ばには本堂も完成しました。スウェーデンで初めて石のかわりに煉瓦を鑄造する技術が使われたのです。聖壇所は部分的にはローマン様式ですが、本堂はメーラルダールと呼ばれるゴシック様式です。

13世紀末にはマグナス・ラデュロース王は教会の屋根を銅で飾らせました。壁や柱および屋根は700年前とあまり変わらぬ外観を残しています。

1530年にグスタフ・ヴァーサ王が改革を行った時、王は僧院を取り壊し、聖母マリア教会をシグチューナの教区としました。その他の教会は徐々に荒廃してゆきました。

最近では、1966年から1971年の間に修復工事が行われました。その際、中世の教会を現代の需要に適應するように、つまり、より活発な会衆の礼拝に応じられるように改造が加えられたのです。

## 聖壇所

- A 祭壇の背後にある大きい飾り壁の最古の肖像は14世紀からのものです。飾り壁は何度か増築され現在の幅になったのは15世紀半ばのことです。左側から順に使徒聖ヤコブ、アレクサンドリアの聖カタリーナ、使徒ペトロ、マリアへの告知者、天使ガブリエル、天主キリストに天界の女王の戴冠を受けたマリア、そして聖母マリアの聖エリザベスとの会合、使徒聖ヨハネ、使徒聖パウロおよび洗礼者ヨハネが描かれています。飾り壁は北ドイツで制作されたものです。
- B 左側に見える壁画は二人の大司教の追悼記念として14世紀に描かれたものです。
- C 壁の上の大きな墓石と紋章はクリステル・ガブリエルソン・オクセンティエルナおよびその婦人ピアータ・カールスドッテルの追悼記念で17世紀初期のものです。
- D 洗礼盤は聖母マリア教会よりも古いもので、おそらく今は廃墟となっている教会にあったものと推測されています。洗礼盤の足元でとぐろを巻いている蛇は邪悪の象徴で、我々は洗礼を受ける事によりその悪から解放されるのです。
- E 南側の壁の右手には聖ドミニク、ドミニク教団の創設者の彫像が見えます。1420年頃に彫られたものです。
- F 北側の壁には十字架に掛けられたキリストの彫像が見えます。ドミニク像と同じ頃に彫られたものと推定されています。
- G 1647年からの説教壇は4人の伝導者と使徒聖パウロに囲まれたキリストをこの世の救世主として現しています。
- H 屋根から釣り下がる勝利の十字架はスウェーデン製です。キリストの画は15世紀末あるいは16世紀初期のものです。

## 北の回廊

- J 15世紀からの壁画ははりつけのシーンを現しています。左から順に聖ドミニク、左を聖ヨハネ、右を聖母マリアに囲まれ十字架に掛けられた、そして無名の聖人および聖フランシスが見えます。

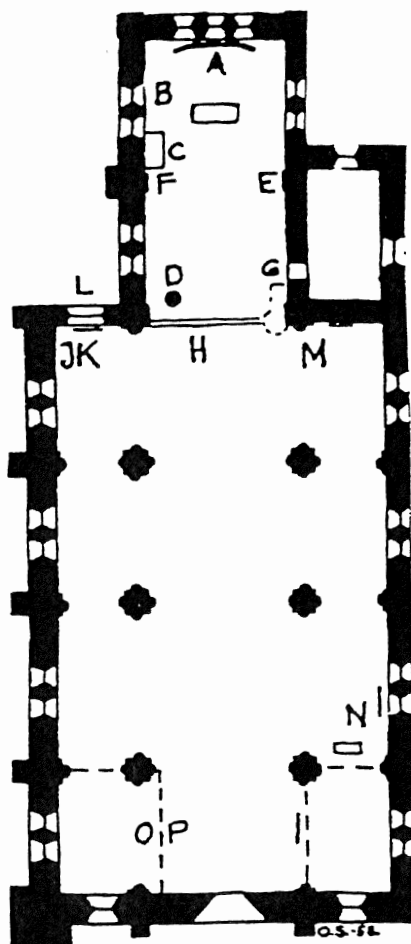
- K 聖壇の背後の壁画はスウェーデン製でスーシグチューナ市で15世紀に描かれた可能性があります。左側の扉には塔の側にいる聖エリック、聖バーバラ、および聖ペトロが見えます。真ん中にはマグダレーナからのマリア、左を聖母マリア、右を聖ヨハネ、聖オロフに囲まれたはりつけの場面です。右側の扉には使徒聖パウロ、アレクサンドリアの聖カタリーナ、および使徒聖ヤコブの姿が見えます。
- L ステンドグラスはスヴェン・パッティル・スヴェンソンの作品で当教会には1983年に備えられました。グラスの上方は聖なる三位一体を象徴しています。中心に見える大きな聖母マリアは神の啓示書に描写されているように新月の上に立ち、栄光の讃歌に囲まれています。この絵のまわりには聖母マリアの一生が縁取りされています(受胎告知、聖母マリアとエリザベス、イエス誕生、賢人の崇拝、イエスの教会堂への登場、エジプトへの逃亡、教会堂での12歳のイエス、カーナでの結婚式および聖母マリアの死)。

#### 南の回廊

- M 賛美歌用のオルガンはオーケルマン&ルンドの製品です。オルガンの後ろの大きな墓石は14世紀のリッケバイ石です。
- N 南側の壁には追悼記念が掛けられ、展示棚には中世の木の彫刻が飾られています。

#### 教会の西側 (入り口近く)

- O オルガンの正面は18世紀のオルガンですが、現用のオルガンは2000年にドンスデンのゲーブリュ・デル・イエムリッヒの製造です。
- P オルガンの上方の壁画は15世紀のもので恩寵の王座と呼ばれ、父なる神が虹の上で戴冠している様を描いています。神はその手にイエスの十字架を抱えています。イエスの頭上には鳩の形をとった聖なる精霊が見られます。



## 聖母マリア教会 シグチャーナ

- A 聖壇背後の壁画、14-15世紀
- B アーチ型墓、14世紀壁画
- C クリステル・ガブリエルソン  
オクセンスティエルナの墓石、  
1592年
- D 洗礼盤、中世初期
- E 聖ドミニク、1420年代
- F はりつけにされたキリスト、  
15世紀
- G 説教盤、1647年
- H 勝利の十字架、1500年頃
- J 壁画、14世紀
- K 聖壇背後の壁画、15世紀
- L 聖母マリアの窓、1983年
- M 賛美歌用オルガン
- N 中世の木彫刻
- O オルガン
- P 天井画、15世紀

### お祈り

イエス様、主は昔も今もそしてこれからもずっと変わらぬままです。祈ることにより、言葉により、そして聖礼典により主を迎えられた昔の人々の為に我らは感謝いたします。主の福音の僕であるこの世の全ての人々の為に感謝いたします。どうか我らの側に來て御旨をお聞かせ下さい。そして我等の魂を主の御国にお導き下さい。アーメン